



## ■ジャパンホームショー 2013 10月23日(水)~25日(金)

会場: 東京ビッグサイト 東ホール  
今年は「第1回スマートハウス・エコハウス展」との合同開催となります。

JBN展示ゾーン 昨年同様の規模で出展します。  
協力会員コーナー(30ブース)の出展募集を開始します。

JBN全国大会in広島でも、同様の出展を予定  
JBNセミナーでは、「中大規模木造建築」、「省エネ・エコ」、「中古住宅流通」の3テーマを予定しています。

昨年の会場の様子が<http://www.facebook.com/JHBS.Pla>でご覧になれます。

## 講習会・セミナー・見学会

### ●「改正省エネ基準と低炭素建築物認定制度」 実務者向け講習会

昨年12月の改正省エネ基準の公布及び低炭素建築物認定制度の施行を受け、現行の省エネ基準が抜本的に見直されることになりました。新しい基準をベースとした低炭素建築物認定制度を利用する上で必要になる外皮の熱性能基準及び一次エネルギー消費量基準の概要、算定方法が中心の実務的な講習会を下記の通り開催します。

日程: 6月17日(月) 13:00~17:00

会場: 住宅あんしん保証会議室

講師: 斎藤卓三氏(ペターリビング)

定員: 50名(申込順)

内容: 1. 改正省エネ基準と低炭素住宅認定制度の概要

2. 低炭素建築物認定制度の基準概要と算定方法

(1) 外皮の熱性能基準の概要と算定方法

(2) 一次エネルギー消費量基準の概要と算定方法

(3) 演習(外皮平均熱貫流率、一時消費エネルギー等の計算)

受講対象者: JBN会員又はJBN連携団体所属会員

受講料: 無料 ただしテキスト代4,800円

主催: 一般社団法人JBN 一般財団法人ペターリビング

問い合わせ先: JBN事務局 坂口

\* 東京に続き、全国主要都市で順次開催の予定です。

### ●JBN認定品質住宅検査員講習会(JIO・ハウスプラス)

JBNには、瑕疵保険法人各社から認定団体として認定され、瑕疵保険料金の割引など有利な条件が適用されるJBN認定品質住宅制度があります。この制度を利用するには、各社ごとに検査員(JBNインスペクター)講習会を受講する必要があります。JIOおよびハウスプラスの検査員(JBNインスペクター)講習会を7月より順次開催の予定です。

会場: 主要都市5か所(予定)

日時、会場等の詳細は、HP等でお知らせします。

問い合わせ先: JBN事務局 坂口・島田・永山

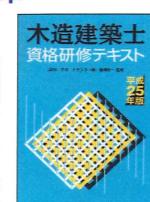
### ●「フラット35対応・木造住宅工事仕様書」講習会

先月号では、4月~6月(予定)とご案内しましたが、「フラット35対応・木造住宅工事仕様書」に低炭素住宅認定制度に関しての追記改訂が行われており、開催は7月以降になる予定です。

## 刊行物のご案内

### ■新しい刊行物

#### ●「木造建築士資格研修テキスト」平成25年度版配本



全国の工務店の力を結集するための組織がJBNです。「地域から必要とされ、信頼される工務店」のためにサポートセンターがさまざまな面から支援します。

#### 暮爺記(ばやき)

「大工が足りない」、「若い大工がない」、こんなボヤキを一般紙でも記事にするようになってしまった。需要が高まってきたのに工事にかかれないと、という業者の声だ。需要が東北で増、首都圏が減らやりくりもできようが、増税前の駆け込み増は全国一斉だから賃金の高い方へ流れる。一方で、需要が萎んでくると「いらない」。こんなご都合主義を繰り返してきたのがこの業界。かつて94万人(1980年)だった大工が40万人(2010年)に減った。これが30万人に減ると何が困るのか、大工のどんな能力が必要で、それが確保できないと何で困るのか。その対策をしっかりと講じるのが企業経営の原則。先のアンケート調査でも正規社員に雇用し、困ることの解消に努力している企業も少なくなかった。そんな一社が一般紙の取材に「建設業界も効率優先のあり方を見直し、雇用を安定させて根気よく後進を育成しなくてはならない」とコメントしていた。(F)

●発行/お問い合わせ

#### 一般社団法人 JBNサポートセンター

〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-4-10 京橋北見ビル東館6階  
TEL.03-5540-6678 FAX.03-5540-6679

E-mail : [jbn@jbn-support.jp](mailto:jbn@jbn-support.jp) homepage : <http://www.jbn-support.jp>

発行人: 藤澤好一 ©工務店サポートセンター 禁無断転載



#### ●「性能向上リフォームで生まれ変わる家」

消費者向けのパンフレットが出来ました。先に刊行された「既存住宅の性能向上リフォーム-耐震・断熱で生まれ変わる家」から、消費者向けに性能向上リフォームをすすめる上でのポイントと施工事例を判りやすく、順序立てて説明しています。営業ツールとして、内部研修資料としてご活用ください。A4中折6ページ・カラー、セット単位でお申し込み下さい。会員価値 1セット(20部) 2,500円(税・送料込)



#### ●既存住宅の性能向上リフォーム-耐震・断熱で生まれ変わる家

既存住宅の性能向上リフォーム研修会用テキスト  
国土交通省・平成24年度補助事業「木造住宅等の施工能力向上・継承事業-既存住宅の性能向上リフォーム」により地域工務店ならではの事例にもとづく実務書が刊行されました。構成 ①性能向上リフォームのすすめ ②北海道発の性能向上リフォームで学ぶ ③事例に学ぶ性能向上リフォーム ④参考情報  
刊行2013年2月 A4・69ページ 監修 JBN・サポートセンター



#### ●木造軸組工法による省令準耐火構造の住宅(第2版)

新たな実験結果に基づき室内真壁造における梁・柱の4面顕しに関する機関承認様を旧版に追加しました。あわせて、住宅金融支援機構監修「木造住宅工事仕様書・19-省令準耐火構造の住宅の仕様」に則った構成に改めました。  
刊行2012年9月 A4・118ページ



#### ●工務店サポートセンター仕様/概要一覧表・特記仕様書・設計施工チェックシートも改定しました。

#### ●長期優良住宅壁量計算の実務(耐震等級2の解説と演習)

長期優良住宅壁量計算の実務研修会用テキスト  
刊行2012年11月 A4・75ページ

#### ●木造住宅の構造計画 長期優良住宅の設計マニュアル

長期優良住宅のプランニングセミナー用テキスト  
刊行2012年11月 A4・130ページ

#### ●JBN長期優良住宅(申請マニュアル)

長期優良住宅のプランニングセミナー用テキスト  
刊行2011年11月 A4・162ページ

#### ●住宅改修の工事記録写真・撮影・保管の実務

先に刊行した「パリアフリーから始める住まいの快適リフォーム」の副産物ともいえるものです。改修工事の経過を証明する写真の添付が求められたのですが、不適切なものが多く、工事が終った段階では撮り直しが出来なかつたという苦い経験から本書が作成されました。改修工事を対象に記録写真の撮り方のイロハから、写真の整理・保管までを判りやすく説明した実務書です。  
工務店サポートセンター発行 刊行2012年3月 A4・32ページ

#### ●パリアフリー改修から始める住まい快適リフォーム 指針・事例集

工務店サポートセンター・増改築委員会編 A4版・102ページ

#### ●地域工務店のための「防耐火性能の高い木造住宅の設計・施工指針」～木造らしさを生かした防耐火性能の高い家づくり～

工務店サポートセンター編 A4版・90ページ

#### ●長期ちぎゅう住宅国産材モデル型式認定(手刻み型)工法利用マニュアル・構造の安定

工務店サポートセンター編 A4版・212ページ

#### ●同上「手刻みの基本(構造編)」

工務店サポートセンター編 A4版・24ページ

#### ●採用 正規職員(建築系技術職)

業務内容: サポートセンター(技術・研修・工務店支援)業務

給与: 標準による。建築士資格保有者、木造住宅、工務店経験者優遇

年齢: 30歳まで

勤務時間: 9:00~18:00(月~金)

連絡先: 事務局 坂口

職務経歴書及び履歴書を郵送またはメールにて送付

#### JBN会員登録募集

全国の工務店の力を結集するための組織がJBNです。「地域から必要とされ、信頼される工務店」のためにサポートセンターがさまざまな面から支援します。

#### 工務店の全国ネットワーク

## 工務店の全国ネットワーク

# JBN サポートセンター・レポート

Japan Builders Network

■JBN会員数 会員登録更新期間のためしばらく掲載を中断します。

■「いえもり・かるて」登録累計数/4,765件

(2013年4月末現在)

2013.June  
No.47

発行人: 藤澤好一  
©工務店サポートセンター 禁無断転載

6月号

#### ・JBN木材利用ポイント説明会・朝日住まいづくりフェアに出展、JBN全国大会開催概要

#### ・活動報告 役員会・青木会長の動き、委員会・WG報告等

#### ・地域工務店のソコデカラ、若手大工の雇用・育成動向調査報告

#### ・お知らせ 講習会開催日程・主な刊行物

## 木材利用ポイント制度とJBN適合資材についての説明会

5月20日(月) 13:30~16:30、東京・京橋の住宅あんしん保証 会議室で開催されました。実参加者は80名でした。

開会のあいさつに立ったJBN青木宏之会長は、日本の木で、日本の技で、日本の家、はJBN発足当初からのテーマ、この制度を活用して、JBNならではの展開につなげていこうと呼びかけました。

第1部では、「木材利用ポイント事業」について、林野庁木材利用課 阿部課長と木材産業課 赤羽課長補佐から制度の内容と実施にあたってのポイント、手続きなどの説明を受け、会場からの質疑に応えていただきました。説明用に用いられた資料は、JBNホームページでも更新資料と合わせて公開してまいりますのでご参照ください。この紙面では、当日の質疑応答の概要を以下に紹介します。

Q お客様に「木材利用ポイント」制度を分かり易く説明できるツールは無いのか、JBNでもどのようなパンフレット、チラシを作るのはないのか。



A イベントなどで使えるチラシを準備中、ホームページからダウンロードできるようにしたい。

Q 内装材に、天井材は含まれないのか

A 内装材の範囲は、床と壁。天井は今回は対象外だが、要望が強ければ次回は見直したい。

Q 即時交換の「別の木材を使用した工事等」とあるが、工事と木材の範囲は

A ポイント対象外の全ての工事、階段、建具、外構エクステリアなど対象範囲は広い。木材の範囲も同じで対象地域材に限定しない。

Q 施工業者の業務フローの中で「即時交換を利用する工事の請負契約を締結」とあるが、例えば階段工事の場合、それだけを取り出して契約する必要があるのか

A 新築または増改築の一括工事に含まれる工事であれば、即時交換部分だけを取り出して追加する必要はない。

Q ストーブなどの工事はどこまでが対象となるのか?

A 対象商品を公募中だから、取り付け工事などの費用は対象とならない。

第2部のJBN協力会員による木材利用ポイント適合資材の説明については、下記の各企業からそれぞれの商品の特徴などについて、パンフレットなどの資料やスライドを用いて説明し、JBNネットワークによる木材利用の広がりと効果的な連携をうかがわせる内容でした。

相澤銘木株式会社・アミバネル、越井木材工業株式会社・あづみ野赤松和丸太・信州赤松密ローリングなど5点、ニチハ株式会社・オフセットサイディング、株式会社パル・縁板木板やり・ラッシュドアなど3点、株式会社マルダイ・ムクボード(スギ)、株式会社山長商店・紀州産スギ・ヒノキ構造材、協同組合レンゲス・Jパネル。

JBNホームページと下記で順次、情報が公表されます。

木材利用ポイント専用問い合わせ先

▽専用のコールセンター 0570-666-799(有料)

受付時間: 9:00~17:00(土日・祝日も受付)

▽木材利用ポイント事務局ホームページ <http://mokuzai-points.jp>

## 活動報告

### ■前月号以降の活動

#### ○第1305回 役員会 4月16日(火) 15:00~18:00

役員3名、常任理事4名、監事1名、事務局2名 開催場所:JBN会議室

#### [あいさつ]

・青木会長

全国組織JBNとしての初めての総会を控え、緊張している。これまでの社員に加えて、65の連携団体の代表も出席される。手続き、書類などの不備は許されないので万全を期したい。JBN連携団体の未組織県が10あるので今年中にはなんとか解消したい。各種規程類は、大野常任理事のご苦労で整備が進んでおり、あわせて事務局体制の整備に反映させたい。メディアとの懇談会をもち、情報の発信、交流を深めていきたい。今年は、会員を増やすのを第一に考えているので、これまでの成果物を活かせるようなツール、機会を増やしていきたい。昨日は、国交省から6名の担当官がヒアリングに来訪、意見交換を行ったが、期待に応え、協力していきたい。

・藤澤センター長

青木会長は、新年度ということで全国各地の団体、機関の総会などへ出席される機会が増えている。留守の間も、事務局が混乱なく、うまく機能していくように足元固めに務めたい。

#### [主な報告]

1)センターレポート(No.46)関連、JBN委員会・WG報告等

2)会員実数、住宅履歴登録数等

会費更新期のため会員数の確定は6月末の見込み。

3)4月末の財務諸表について

4)会長の新年度所信

#### [主な議題]

1)JBN協力会員加入の件

申請のあった1社を承認した。

2)理事会・常任理事会規程(案)の件

案を承認した。役員会の正式名称を常任理事会とするが、当面は役員会と通称とする。

3)委員会の設置、運営に関する規程(案)の件

(案)が説明され、次回以降の継続審議とした。

4)JBN連携団体に関する加盟規約(案)の件

承認した。

5)諸規程の件

就業規則のうち、事務局職員の給与規程・慶弔規程を承認し、旅費規程は継続審議とした。

6)会合への会長・役員の出席規程(案)の件

承認した。

7)書面理事会議事(案)の件

資料の作成、手続きは慎重に進めることとし、承認した。

8)第6期(平成25年度)定期総会議題(案)の件

資料の作成、手続きを期すことを確認し、承認した。

9)JBN顧問弁護士の件

JBN顧問弁護士として匠法律事務所(秋野弁護士)との契約を承認した。

次回 常任理事(役員)会 2013年6月11日(火)11:00~13:00

## 青木会長の動き

2013年4月16日~5月15日

#### 4月

・22日(月) 現代計画研究所 今井社長、マーケット打合わせ  
スマート&スリムハウス研究開発委員会出席

・24日(水) 新建新聞 三浦氏社長就任パーティー

・25日(木) センター長と打合わせ

・30日(火) センター長と打合わせ

#### 5月

・7日(火) 秋田県知事と災害協定懇談 事務局長も  
公明党議員委員会にてJBN取組み説明、秋野弁護士來訪

・9日(木) 全木協運営会議

・10日(金) 青森県優良住宅協会総会にて講演、和田理事も

・13日(月) 国交省ヒアリング、次世代の会と

役員会

・15日(水) 広島県災害協定 全木協(右欄に記事)

・16日(木) 地域ブランドJBN説明会

中古住宅流通WG

・20日(月) 広島全国大会実行委員会

木材利用ポイント説明会林野庁(P1に記事)

メディア懇談会(右欄に記事)

福井県家づくりの会総会

岩手県中小建築業協会総会

## 委員会・WG 報告

### ●活動報告 ○活動予定

#### 次世代の会

#### ○第1302回 5月15日(水) 13:00~17:00

会場:柏木工・安上ホール 参加者:25名

①13:00~14:00 家具メーカー「柏木工」新宿ショールーム見学  
②14:15~15:15 次世代ディスカッション「各社の契約約款と契約条件について」  
③日経BP 安達氏講演

#### 大型木造研究委員会

#### ●総括会議 5月20日(月) 15:00~17:00

会場:TKP京橋BC 参加者:8名

・平成25年度の取り組みについて  
・参加者 ディスカッション

#### 既存改修委員会

#### ●総括会議 5月10日(金) 16:00~17:30

会場:JBN会議室 参加者:7名

・過年度の取組みの総括と今後の委員会活動の在り方について  
・本来の委員会活動と補助事業との有機的な在り方、メンバーの習熟と固定化など

#### マーケット委員会

#### ●総括会議 5月13日(月) 16:30~18:00

会場:JBN会議室 参加者:8名

・今後の取り組みについて  
・パナソニックソリューションズの太陽光発電商材の取扱について  
・ERIソリューションズのエスクローシステムについて

#### 国産材委員会

#### ○正副委員長会議 6月21日(金) 11:00~12:30

会場:JBN会議室

#### ○第一回研修会 6月21日(金) 13:30~16:00

会場:TKP東京駅前カンファレンスセンター

・京都府立大学大学院 生命環境科学研究所 古田裕三 准教授の講演

#### 環境委員会

#### ○第1301回 5月29日(水) 14:00~18:00

会場:東京八重洲ホール901会議室

・各種省エネ系補助事業情報交換  
・2020年省エネ基準義務化に向けての技術動向ほか。

#### 中古住宅流通WG

#### ●第1302回 5月16日(木) 15:00~17:20

会場:JBN会議室 参加者:9名

・株価値総合研究所 小沢室長からレクチャー 国交省の不動産流通市場活性化事業の取組みのうち、全国12地域協議会の現状と課題の報告をうけ討議

### ■委員会活動について

委員会の活動目的、成果目標をより明確にし、より効率的、効果的なものにするべく、体制・運営などの見直しを進めています。これまでの活動の成果も踏まえながら、段階的に新しい体制へ移行することになります。(F)



左から広島県工務店協会 河井  
会長、広島県湯崎英彦知事、全国  
木造建設事業協会青木理事長、  
同 澤田専務理事、広島県建設  
労働組合 安元執行委員長

### ●広島県と締結―災害時における応急仮設住宅の建設に関する協定―

5月15日(水)14時より、広島県にて調印式が行われました。全国木造建設事業協会が、都道府県と協定を結ぶのは11番目、中国地方では初めてとなります。署名のあと、湯崎秀彦知事は「現時点では大きな安心につながるし、災害時には円滑な対応に備えられる」、全木建 青木理事長は「情報交換を密にして、万が一の災害に備えたい」と述べました。

### ●協力メディアとの懇談会

5月20日(月)17:00より、JBN協力会員のメディア社を招き、第一回懇談会が開催されました。JBNの活動状況の効果的な広報、事業および主要プロジェクトへの参画、協力メディアを通じての情報収集、JBNを介してのメディア会員間の交流などが目的です。この日は、日経ホームビルダーの小原編集長、島田次長、新建ハウジングの三浦社長、竹内編集長、日刊木材新聞の橋本編集部長、住宅産業新聞の遠藤記者、日本住宅新聞社の大川原編集次長、ハウジングトリビューン(創樹社)の中山社長、日本物流新聞社の牛尾記者、合わせて9名が参加されました。JBNからは会長をはじめ7名が出席し、JBNの活動内容などを説明し、協力を要請するとともに意見交換を行い、交流を深めました。



JBNの活動内容を説明する青木会長

## JBN(都道府県)の活動

### 地域工務店のソコヂカラ 第6回

#### 日本の家をつくる

JBN静岡県 会長  
松井進

うと想像しています。消費税率引上げ、その他の増税の影響、大手建築会社との競合はこれまで以上に激しくなると考えています。そんな中で工務店一社では出来なかったことがJBNの組織的な活動を通して実現し、活用できるようになったことが、私たちサン工房にとって良い影響を与えてくれています。

しかしながら、それだけでは発展はありません。会社の運営でも代表が「将来を見据えて手を打つこと」が常に不可欠であるよう、組織的な取組みも同じであると考えます。そのためにも地域工務店ならではの出来ることを見つめなおし、改めるべきところは改め、今後の状況に対して手を打ち、実行に移していくことです。志を同じくする地域の会員の皆さんとともに頑張っていきたいと考えています。



サン工房社屋・アトリエ

### ●報告「若手大工の雇用・育成」に関するアンケート調査

地域工務店の現場施工にとって要となる大工の不足が懸念される事態が伝えられています。JBN・サポートセンターでは、こうした状況をふまえ、昨年度より若手大工の確保・育成・雇用のありかたを点検し、工務店業界としてどう取組むべきかの活動を進めているところです。昨年度からJBNが実施した国土交通省・木造住宅等の施工能力向上・継承事業「大工育成のための短期集中研修」もその一環であり、本年度も引き続き事業の継続が決定しています。また、昨年度の国土交通省・住宅市場技術基盤強化推進事業として「木造技能者育成検討WG」(主査:藤澤好一)が設置され、関連省庁・業界関係者、学識者により広範で根拠的な討議を重ねてきました。その過程で示されたあるべき道筋の一つが、地域工務店が大工を正規社員として確保・育成・雇用し、キャリアアップをはかりながら内部の有力な人材として処遇するという方策でした。JBN・サポートセンターでも、急きよWG準備会を設け、調査、検討を実施し、報告書(大工の正規社員化の課題と対応策)をとりまとめたところです。本年11月には、JBN全国大会in広島に合わせて「第1回・大工キスパートJBNマスター」が開催されます。この技能競技大会の位置づけ、対象とする参加者、送り出す事業所、競い合う能力、課題と評価のあり方を含む大会の性格、運営の方針とともに、これらを通して若年大工の確保・育成、能力評価、そして処遇と定着につながる仕組みを全国組織・JBNがどう構想し、構築に向けた活動が展開できるか、極めて重く困難なテーマに着手するになりました。木造住宅産業の将来に向けて、どのような大工を必要とし、どのように育て、業界・企業としてどのように処遇していくのか、今回の調査でもこのテーマに対する会員間の意識には相当な温度差がみられ、足並みをそろえ、同じ方向へ歩み出せるかどうかが疑問です。これらの現実と切実で難しい課題に向き合うための一資料として、調査結果の概要を紹介します。

実施期間:2013年4月15日(月)~22日(月)の一週間

実施方法:FAX送信(主旨および設問、回答用紙の2枚)と返信(回答用紙1枚)

有効回答数:447社(回答率18.2% / 発送数2,455社)

集計分析:JBN・サポートセンター

### ○回答企業の平均像

本年2月に実施した「リフォーム調査」の441件(18.0%)とほぼ同じで、会員の協力と関心の高さがうかがえます。都道府県別では、長野、愛知、神奈川、埼玉、茨城、千葉、東京、北信越、中部が多く、回答ゼロは3県でした。大工を除く社員数による企業規模では、1名から5名が全体の39%、6名から10名が34%で、全体の%を占めています。社員数が3.5~7.5人が最多で、技術2、事務1.5、設計1、営業1が平均的な人の構成でした。年間の総工事額の規模では、5千万円から1億円未満が17%、1~3億円が39%、3~5億円が17%で、5億円未満が全体の78%を占めます。うちリフォーム工事額の割合では、10~30%が40%が最多層ですが、30%以上も40%で、リフォーム工事の比重の高さがうかがえます。

### ○大工の雇用状況